

平成28年度第3回青年経営者養成セミナーを開催

- 開催日 平成29年1月18日(水)
- 場 所 群馬県トラック総合会館 2階研修室
- 参加者 部会員20名・他6名



本年度第3回目の青年経営者養成セミナーは、「陸運業における取り組むべき労働安全衛生対策について」をテーマに、群馬労働局労働基準部健康安全課課長の齋田一行氏、同じく課長補佐の芳賀裕氏から講話をいただきました。

まず始めに、芳賀課長補佐より「自動車運者の労働時間等の改善のための基準」について、今の物流業界における課題である「拘束時間・休息期間・残業時間」等の問題点や改善点などを図や表などを使って、ポイントごとに詳しく丁寧に説明をしていただきました。さらに、道路貨物運送業に係る法令違反の状況や問題点が認められた場合の措置等についても、実例を交えながら説明・解説していただきました。

次に、齋田健康安全課長より「労働災害発生状況と安全衛生管理への取組」について、群馬労働局管内における労働災害の発生状況の説明がありました。労働災害の中で最も転倒災害が多いことから、多発する1月から3月を「転倒災害防止強調期間」として注意を呼びかけています。冬季の転倒災害防止の5ヶ条など、日頃の動作のちょっとした意識掛けで労働災害を防ぐことができることがわかりました。

また、職場の労働衛生管理を進めるには、「労働衛生3管理」①作業環境管理、②作業管理、③健康管理の面から検討し、職場の改善並びにその防止対策を図り、作業者の健康を保持増進することが大切であると学びました。

講師の方々には、日頃より運送業界の問題・課題になっていることを我々の実務レベルにあった内容で非常にわかりやすく講話をして頂き大変感謝しております。

当青年部会では、これからの会社経営・運営に非常に役立つセミナー等を開催していますので、沢山の参加者をお待ちしております。

(前橋支部幹事 川井基義)

平成28年度（公社）全日本トラック協会青年部会全国大会に参加

- ➔ 開催日 平成29年2月24日（金）
- ➔ 場 所 京王プラザホテル
- ➔ 参加者 部会員12名（総勢730名）



平成28年度（公社）全日本トラック協会青年部会全国大会「～ともに歩もう 新しい未来へ～」をテーマに、全国から約730名の青年部会員の仲間が東京、京王プラザホテルに集結しました。



開会にあたり、（公社）全日本トラック協会青年部会の山本部長から挨拶があり、続いて（公社）全日本トラック協会星野会長の挨拶を頂戴した後に、来賓挨拶として自由民主党の鈴木青年局長から、「これから効率化が求められる中で、環境の変化に対応することを、トラック協会青年部会の皆様に期待したい。」と力強く挨拶がありました。



国土交通省自動車局の加藤貨物課長からは、「物流業は日本経済に欠かすことのできない産業であり、人手不足、労働時間や賃金、取引条件など多くの課題があるが、現在追い風を感じている。また、官邸や国交省、荷主を管轄する省庁横断的な取組による支援、次世代や今現場を担っている皆様と一緒に取組む働き方改革などが始められている。」と述べられ、輸送の仕組みや荷主との共同による、生産性の向上にも取り組んでいきたいとのことでした。

青年経営者等による先進的な事業取組に対する顕彰では、当青年部会の危険箇所・休憩場所等情報提供事業「トラマップ群馬」が銀賞に輝き、選考委員長の早稲田大学杉山名誉教授から、「各社から提供されたデータを基に交通事故防止、長時間労働防止に役立たせることができるものである。」との高い評価をいただきました。堀越部長が代表で表彰を受け、滝澤幹事よりトラマップ群馬の事業紹介を全国の青年部会員に向け堂々たる姿で発表を行いました。

研修では、「協力雇用主の活動について」をテーマに、NPO法人福岡県就労支援事業者機構の野口義弘理事からお話をいただき、自身が青年時代に受けた地域からの支援経験を基に取り組んでいること、犯罪や非行に走ってしまった人を雇用して更生させる支援事業のやりがい、そして一緒に働く子供達の目線に立った仕事の大切さについて、熱意のある説明がありました。

パネルディスカッションでは、「トラック運送業界における人材確保対策について」をテーマに、コーディネーターの日本PMIコンサルティング(株)の小坂社長よりトラック業界の人材不足の実態について説明があり、女性ドライバー活用事例やハローワークとの協調、出前授業などに取り組む経営者からの発表があり、何かしらのアクションを起こさなければ課題をクリアできないことを痛感させられました。

全国ではまだまだ山積みとなっている物流課題が多くあることと思います。今回の全国大会で学んだ事を地元に戻り起爆剤となる取り組みを実践・実行に移していきたいと思っております。

（高崎支部幹事 田中悟史）

平成28年度全体研修交流会を開催

- 開催日 平成29年2月25日(土)
- 場 所 前橋さくらホテル
- 参加者 来賓7名・歴代部会長4名・
部会員49名(総勢67名)



1、研修会・活動報告

平成28年度の青年部活動を各委員会の担当者から報告しました。参加していただいた皆様に、我々青年部会の活動内容について、パワーポイントを使用して、解りやすく報告出来たと思っております。

また、この度お忙しい中ご参加頂いた(一社)群馬県トラック協会武井会長、松原副会長、石井専務理事にも、当青年部会の活動内容や熱意、行動をご理解していただける、大変貴重な機会になったと思っております。

最後に武井会長から当青年部会の活動内容等に対し、心温まる講評を頂戴しました。



2、講演

「日本一のマグロ船船長に学ぶ組織活性術～社員が喜んで働く仕掛けの秘密～」をテーマに、マグロ船式人材コンサルタント、(株)ネクストスタンダード代表取締役社長の齊藤正明氏をお迎えして講演して頂きました。

開演早々、マグロ船員の恰好をした齊藤講師が慌ただしく走りながら会場に入場され、驚かされました。その姿を見て、張りつめた空気になっていた会場が、一気に和やかなムードになりました。講演については齊藤先生が体や声など、全身を大きく使い会場の端から端まで走りながら講演を行ってくれたので、大変楽しい講演でした。

大変有意義なお話を色々として頂きましたが「これが出来ることの2つのメリット」についての内容が、今の私の中では一番関心を持てた事でした。それは、『1、リーダーがイライラしないで済む。』『2、社員のやる気が出る。』の二つです。当たり前のように接してきた社員に対して、もう一度自分を見直し、コミュニケーションを取ることの大切さや、社員育成と社員に対するやる気低下を未然に防げる努力を怠らず、今後の組織活性に役立てようと思いました。大変素晴らしい講演でした。



3、交流会

続いて行われた交流会では、武井会長と、歴代部会長を代表して第3代部会長である今成元部会長から挨拶をいただいた後に、原副会長から乾杯のご発声をいただき、終始賑やかなムードで交流会が行われました。また、交流会でのイベントとして当日参加した幹事全員の紹介が行われ、一般部会員へのお披露目と挨拶を行いました。



なお当日は、(公社)全日本トラック協会青年部会が社会貢献活動の一環として展開している、高等学校への整備実習用トラックの寄贈に対する募金に協賛し、募金箱を設置したところ、来賓の皆様や参加部会員の方々から沢山の募金をいただきました。皆様本当に、ありがとうございました。

(館林支部幹事 本間美儀男)



前橋支部・家族交流クリスマス会を開催

- 開催日 平成28年12月4日(日)
- 場 所 前橋テルサ
- 参加者 部会員11名(総勢45名)

前橋支部青年部会では、今回で20回目の節目となる家族交流クリスマス会を盛大に開催しました。毎年恒例の家族紹介にビンゴ大会、サンタさんから子供たちへのプレゼント、最後にお母さんへ花のプレゼントを行いました。サンタさんに扮した会員が子供たちにプレゼントを渡す際、目を輝かせながら受け取る姿が印象的でした。

今回は初参加の家族もあり、年に一度ではありますが、会員家族同士の交流も深められたと感じました。次回は参加家族をさらに増やし、我々青年部会の活動を各家庭でより理解してもらえるような家族交流会にしていきたいと思います。

(前橋支部 岡田邦広)



前橋支部・交通安全教室「とらっくからしるこうつうあんぜん」を開催

- 開催日 平成29年3月9日(木)
- 場所 学校法人中村学園 朝日が丘幼稚園
- 参加者 部会員12名



前橋支部青年部会では、交通安全教室を通じて子供たちがトラックに興味を持ち、将来トラックドライバーになってくれることを願って、学校法人中村学園朝日が丘幼稚園において「とらっくからしるこうつうあんぜん」と題して、交通安全教室を開催しました。

年長組の子供たちに、普段私たちが使用している車両の紹介や、トラックと乗用車の違いを中心に、大きさ、内輪差、死角、助手席の安全窓の説明を行い、道路の渡り方（左右の確認）を全員で実際に何度か練習しました。また、トラックに積める重さを動物で表したり、夜間見えやすい服装についてクイズ形式で説明をしたり、交差点を曲がるトラックの動画や、運転手の一日の仕事の風景を動画で見てもらいました。

さらに園庭では、年中組や年少組の園児にも参加してもらい、大型ウイング車とキャリアカーを持ち込み、運転席から見えづらい場所を体験してもらいました。また、キャリアカーに車を積む実演を行ったり、ウイング車の荷台で遊んだり、園児もみんな笑顔でした。

最後に年長組の園児たちへ記念品として、トラックのミニカー、反射材のリストバンド、働くトラックの絵の下敷き、そして保護者の方へ交通安全だよりを配ったところ、大変うれしそうにもらってくれました。

(前橋支部 田中大樹)



前橋支部・研修会を開催

- 開催日 平成29年3月25日(土)
- 場所 前橋プラザ元気21
- 参加者 部会員12名

前橋支部青年部会では、前橋プラザ元気21において、当支部副支部長であり、また長年の運行管理者としての経験を活かし、運行管理者等指導講習の講師としても活躍している、関口宜男氏を講師にお招きして研修会を開催いたしました。

当日は、関口講師の実体験を織り交ぜながら、「運行管理者のお仕事 点呼は『命』」と題し、点呼によるドライバーとの関わり方、



ドライブレコーダーの事故映像、運行管理時の間違いやすい事例などについて講義を行っていただきました。

また、関口講師は我々青年部会の先輩ということもあり、一方通行な研修にならずに様々な意見交換ができ、点呼を通じて運行管理者とドライバーがコミュニケーションを図ることの重要性、そして点呼をしっかりと行うことが事故防止に繋がるということについて、改めて考えさせられる有意義な研修会でした。

当研修会は今年度最後の青年部会事業でしたが、来年度も部会員にプラスになる研修会を開催していきたいと思います。

(前橋支部 岡田邦広)

北毛三支部合同「働くトラック絵画コンクール」選考作品展示会を開催

- ➡ 開催日 平成28年12月18日(日)～平成29年1月16日(月)
- ➡ 場 所 道の駅こもち
- ➡ 参加者 部会員13名・部会員外1名

毎年の恒例イベントとなっている、渋川・吾妻・沼田の三支部合同で行う働くトラック絵画コンクール選考作品展示会を渋川市「道の駅こもち」にて開催しました。

第21回働くトラック絵画コンクールの受賞作品56点を、冬休みに合わせた12月18日から1月16日の約1か月間展示しました。物流に対するイメージの向上と小さな子供達にトラックに興味を持ってもらい、交通安全のPRも一緒に出来ました。

お子様連れの家族や観光客、そしてスキー場へ向かう若者達も足を止めて観てくれていました。このイベントは今後も継続していく予定ですので皆さまも北毛へお越しの際にはお立ち寄りください。

(沼田支部幹事 高橋利光)



新規加入部会員紹介

★坂本将基さん



(大泉支部 (株)エースライン)

起業してからまだ日が浅く、至らないところが多々御座いますが、諸先輩方から多くを学び、がんばりますので、よろしくお願いたします。

★今成健人さん



(渋川支部 今成運送(株))

よきかわるきか、必然の入会となりました。皆様のご指導に支えられつつ活動していければと思います。よろしくお願致します。

新規加入部会員募集

群ト協青年部会では新規部会員を随時募集しています。

青年経営者のための研修事業や交流事業、社会貢献事業等の活動を展開していますので、青年部会に興味のある方は、事務局または青年部会幹事までお気軽にご連絡下さい。

みなさまのご参加をお待ちしています。

※入会申込書は青年部会ウェブページよりダウンロード出来ます。

事務局(永井・内藤) TEL027-261-0244

平成29年度上半期スケジュール

| | | |
|------------------|--|--------------------|
| 4月 1日(土) | 第22回働くトラック絵画コンクール募集開始 | |
| 5月21日(日) | 第16回(平成29年度)トラックの森づくり事業 | 前橋市嶺公園内トラックの森 |
| 6月18日(日) | (公社)全日本トラック協会青年部会関東ブロック大会 | 神奈川県(横浜ロイヤルパークホテル) |
| 6月19日(月) | 関東トラック協会青年部会チャリティゴルフ大会 | 神奈川県(磯子カンツリークラブ) |
| 7月1日(土)~8月31日(木) | 平成29年度第1回献血推進月間 | 前橋・高崎・太田献血ルーム |
| 7月5日(水) | 第22回働くトラック絵画コンクール募集締切 | |
| 8月20日(日) | 第43回ホリデーインまえばし 第22回働くトラック絵画コンクール展示会・表彰式 | 前橋市敷島公園 |

群ト協青年部会ウェブページのご案内

青年部会では、群ト協ホームページ内に青年部会ウェブページを公開しています。活動予定や活動状況等、様々な情報を適宜更新していますのでご活用願います。なお、ウェブページに関するご意見、アイデア等は青年部会事務局へご連絡下さい。

▶ 群ト協青年部会ホームページ <http://www.gta.or.jp/seinen/index.html>



お薦めの一冊



ヤマト運輸㈱の巨額残業代未払い事件は記憶に新しい所だと思います。本著書は、著者が内部で実際に働いたものをルポ形式で著したのですが、同事件の根の深さを感じさせるものとなっています。著者は、何度も運送業は制度疲労を起こしていると喝破しております。宅配業界の雄が同事件を起こしたことは、体質や制度の刷新が急務であることの証左であると言えます。また、終章に於いて「労働に見合った運賃を収受できているかを見分ける尺度は自分の子供を運送業界で働かせたいと思うかどうかである。」との一節は運転手不足、後継者不足に悩む運送業界の闇を端的に表していると言って過言ではないと思います。

発刊から約2年が経っておりますが、社会のインフラとしての運送業界のあり方に一石を投じる本著書をお勧めします。
(多野藤岡支部幹事 浜名龍)

仁義なき宅配：

アマゾン、ユニクロの内幕を暴き「企業に最も嫌われるジャーナリスト」の異名を持つ、横田増生が放つ衝撃のビジネス・ノンフィクション作品。今や日本最大の成長産業とも言われる宅配ビジネス。ヤマト運輸、佐川急便、日本郵便の大手三社は日々、どこよりも「速く安く多く」運ぶための苛烈なシェア争いを行ってきた。しかしその一方で、アマゾンをはじめとするネット通販の「即日宅配」まで可能にする宅配業界の現場は、今までバールに包まれたままだった。そこで著者は、宅配ドライバーの助手に扮し、あるいは物流センターのバイトとして働くという、「潜入労働ルポ」を敢行し、そこで見てきた、宅配戦争の「光と影」が描かれています。



第22回 働くトラックの絵 コンクール作品募集

趣 旨 未来を背負って立つ小学生を対象としてトラックに関する絵画を募集することにより、愛され親しまれるトラックのイメージを持っていただくことを目的としています。
また、交通事故ゼロ・地球環境保全・災害復興支援・業界のイメージ向上への思いから、交通安全・環境保全・道路美化標語・業界応援メッセージも募集することにより、交通安全推進・環境保全活動・業界のイメージアップ活動に活用していきます。

応募資格 群馬県内の小学生

テ ー マ 「働くトラック、未来のトラック」の絵を描こう！自分で考えた「交通安全標語」・「環境保全標語」・「道路美化標語」・「被災地への応援メッセージ」・「業界への応援メッセージ」のどれか1つを入れて下さい。

※「標語」か「メッセージ」のないものは、審査対象になりません。

標語・メッセージテーマ例：「ポイ捨て禁止」・「エコドライブ」・「安全運転」等

- 応募方法**
- ① 画用紙は四つ切りサイズ。(縦 380mm × 横 540mm)
 - ② 画用紙の裏に、住所、氏名(漢字・ふりがな)、電話番号、学校名、学年を必ず記入して下さい。
※ご記入された個人情報は当コンクール及び当トラック協会の広報活動以外の目的で使用しません。入賞者については、展示の際等に学年・氏名(ふりがな)のみ表示します。
なお、応募作品に係る一切の権利は、無償にて主催者に帰属します。
 - ③ 応募は一人一作品に限ります。作品は返却できません。
 - ④ 作品は各支部担当者に連絡しお渡し下さい。

応募締切 平成29年7月5日(水)迄

審 査 主催者が審査のうえ各賞(最優秀賞・選考委員特別賞・優秀賞・入選)を決定します。入賞者には賞状・副賞を贈呈します。また、応募者全員に参加賞を進呈します。

展示・表彰 第43回ホリデーインまえばし(8/20日(日)前橋市敷島公園)で展示会と表彰式を開催予定。

主 催 一般社団法人群馬県トラック協会青年部会 (問い合わせ先：事務局 TEL027-261-0244)



第21回(平成28年度)最優秀賞作品



展示会(第42回ホリデーインまえばし)



表彰式(第42回ホリデーインまえばし)